

小学校 総合的な学習の時間 単元プラン(例)

学年	探究課題, 単元名	
第3学年 (50時間扱いの例)	探究課題	ごまだしの生産や普及に携わる人々や組織の願いや思いと, それを実現しようとする意義
	単元名	自分たちのごまだし料理をつくって紹介しよう
第3学年 (50時間扱いの例)	探究課題	カボスの生産や普及に携わる人々の願いや思いと, 普及に向けての取組
	単元名	カボススイーツを開発して, カボスの魅力を発信しよう
第4学年 (70時間扱いの例)	探究課題	ものづくりの面白さや工夫, 自然の不思議さともものづくりに携わる人々の技術や思い
	単元名	世界でたった一つの土笛プロジェクト ~運動場の土から世界でたった一つの土笛を作ろう~
第4学年 (70時間扱いの例)	探究課題	〇〇川の環境を守ったり, 清流にしたいと活動する組織や人々の思いや願いと, それを実現しようとする意義
	単元名	〇〇川探検隊! ~生き物がいる川を大切にしてもらうための取組を進めよう~
第5学年 (70時間扱いの例)	探究課題	米の生産や米菓作りに携わる人々の取組や願い, 努力や創意工夫
	単元名	ごはんもりもりプロジェクト ~ 発見! お米の可能性 ~ お米のよいところを発見・発信しよう
第6学年 (70時間扱いの例)	探究課題	世界農業遺産の仕組みや価値とその維持・継承に向けて取り組む人々の努力や創意工夫と思いや願い
	単元名	世界農業遺産の自慢を発信しよう
第6学年 (70時間扱いの例)	探究課題	にらの生産・販売や大分市の特産品として宣伝活動に携わる人々の努力や創意工夫と思いや願い
	単元名	オリジナルにら料理で大分をPRしよう



それぞれの単元プラン例の内容と関連するSDGsの目標を示しました。(令和元年11月)

単元プランの見方①

【探究課題】子どもたちが探究的に関わりを深めるひと・もの・ことを示しています。（冊子版解説P.73～77）

単元のねらいは、資質・能力の3つの柱で示すとどうしても長くなってしまいます。単元の「要」にするものを抽出すると焦点化され、明確になります。

単元のめあて(単元名)

小
単
元
1

20h

○小単元ごとの主な学習活動を、探究の過程に沿って示しています。

小
単
元
2

15h

○探究の過程は、順序よく繰り返されるわけではなく、順番が前後することや、一つの活動の中に複数のプロセスが一体化して同時に行われる場合もあることを踏まえています。

○体験活動や考えたことの実践なども位置付けています。

小
単
元
3

15h

期待する振り返りの姿を示しています。

単元プランの見方②

指導の時期	
探究の過程	小単元のめあて
探究の過程	<p>指導の時期・探究の過程に応じた学習活動</p> <p>※色がついているセルは、多くの場面で活用・発揮されることが考えられる資質・能力と学習活動との関連を示しています。</p>
探究の過程において活用・発揮が期待される 各教科等の資質・能力	

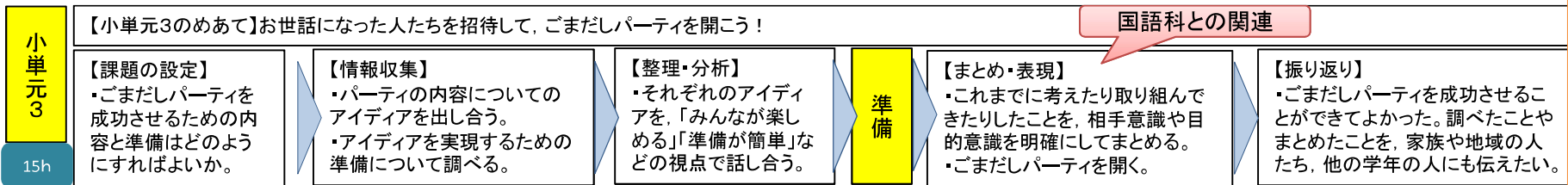
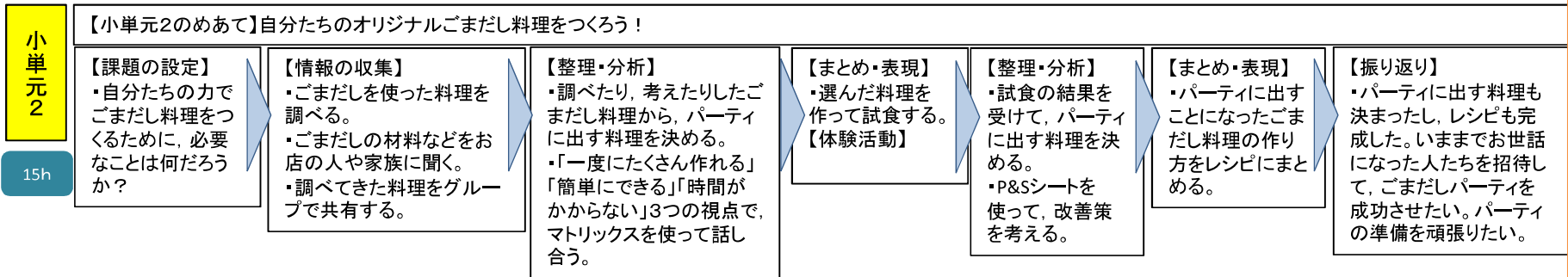
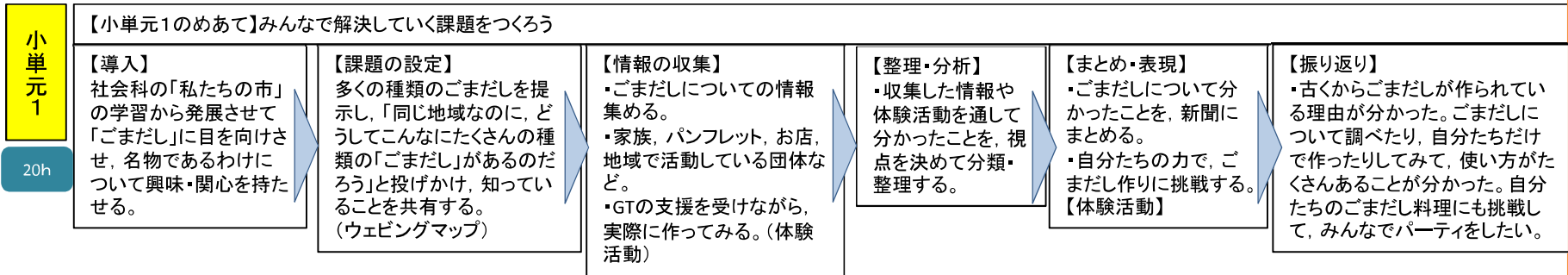
小学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第3学年:50時間】



探究課題(例): ごまだしの生産や普及に携わる人々や組織の願いや思いと、それを実現しようとする意義

単元のねらい: 佐伯の郷土料理であるごまだしについての探究的な学習を通して、地域活性化に関わる人々の思いや願いを知るとともに、地域の食や活動に関心をもち進んで関わろうとするようにする。

単元のめあて: 自分たちのごまだし料理をつくって紹介しよう



【単元の振り返り】(期待する姿)

・1年間学習してきて、ごまだしのことがよく分かった。自分たちで作ったごまだしが、とても美味しくできてよかった。今までごまだしについて詳しくなかったけど、「ごまだしうどん大作戦」の人たちがやっていることや、いろいろな料理に使えることが分かってよかった。みんなと力を合わせてパーティを成功させることができたので、がんばってきてよかったと思う。 など

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力(例)



単元名: 自分たちのごまだし料理をつくって紹介しよう(小学校第3学年:50時間)

時期	9月～10月	11月～1月	2月～3月
探究の過程	ごまだしについて調べたり体験したりしたことや考えたことをまとめ、課題をつくる(15時間)	自分たちのオリジナルごまだし料理をつくろう!(20時間)	お世話になった人たちを招待して、ごまだしパーティを開こう(15時間)
課題設定	社会科の「私たちの市」の学習から発展させて「ごまだし」に目を向けさせ、名物であるわけについて興味・関心を持たせる。 多くの種類のごまだしを提示し、「同じ地域なのに、どうしてこんなにたくさん種類の「ごまだし」があるのだろう」と投げかけ、知っていることを共有する。(ウェビングマップ)	・自分たちの力でごまだし料理をつくるために、必要なことは何だろうか?	・ごまだしパーティを成功させるための内容と準備はどのようにすればよいか。
情報収集	・ごまだしについての情報集める。 ・家族、パンフレット、お店、地域で活動している団体など。 ・GTの支援を受けながら、実際に作ってみる。(体験活動)	・ごまだしを使った料理を調べる。 ・ごまだしの材料などをお店の人や家族に聞く。 ・調べてきた料理をグループで共有する。	・パーティの内容についてのアイデアを出し合う。 ・アイデアを実現するための準備について調べる。
整理分析	・収集した情報や体験活動を通して分かったことを、視点を決めて分類・整理する。	【整理・分析①】 ・調べたり、考えたりしたごまだし料理から、パーティに出す料理を決める。 ・「一度にたくさん作れる」「簡単にできる」「時間がかからない」3つの視点で、マトリックスを使って話し合う。	・それぞれのアイデアを、「みんなが楽しめる」「準備が簡単」などの視点で話し合う。
まとめ表現振り返り	・ごまだしについて分かったことを、新聞にまとめる。 ・自分たちの力で、ごまだし作りに挑戦する。【体験活動】 【期待する振り返り】 ・古くからごまだしが作られている理由が分かった。ごまだしについて調べたり、自分たちだけで作ったりしてみても、使い方がたくさんあることが分かった。自分たちのごまだし料理にも挑戦して、みんなでパーティをしたい。	【まとめ・表現①】 ・選んだ料理を作って試食する。 【体験活動】	【まとめ・表現②】 ・パーティに出すことになったごまだし料理の作り方をレシピにまとめる。 ・パーティに出す料理も決まったら、レシピも完成した。いままでも世話になった人たちを招待して、ごまだしパーティを成功させたい。パーティの準備を頑張りたい。
			【まとめ・表現】 ・これまでに考えたり取り組んできたことを、相手意識や目的意識を明確にしてまとめる。 ・ごまだしパーティを開く。 【期待する振り返り】 ・ごまだしパーティを成功させることができてよかった。調べたことやまとめたことを、家族や地域の人たち、他の学年の人にも伝えたい。
	【社会】「働く人とわたしたちの暮らし」 ・お客の願いと店の工夫のかかわりについて考え表現する。(思・判・表) ・さまざまな店や買い物の仕方のよさや自分の暮らしとのつながりについて考え、表現する。(思・判・表) ・視点を決めて観察したり、買い物客へインタビューしたりして、必要な情報を集める。(技)	【社会】「働く人とわたしたちの暮らし」 ・見学でわかったことを観点に沿って出し合い、それらを分類したり、関連付けたりしながらまとめる。(思・判・表) ・店や工場、農家の仕事は自分たちとかがかわりがあり、自分たちの暮らしを支えていることを考え、ちらしやノートに表現する。(思・判・表)	【国語】「発見ノートを作ろう」(書く) ・関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書くうえで必要な事柄を調べて「発見ノート」に書く。(思・判・表)
		【国語】「生き物のとくちょうをくらべて書こう」(書く) ・事柄の特徴を明確にし、目的や必要に応じて理由や根拠をあげて書く。(思・判・表)	【国語】「たからものを紹介しよう」(話す・聞く) ・スピーチメモをもとに、理由をあげて筋道を立ててわかりやすく話す。(技)
			【国語】「調べたことをほうこくしよう」(話す・聞く／書く) ・書くこととすることの中心を明確にして、目的や必要に応じて書く。(思・判・表)

【国語】「本で調べよう」
・知りたいことに応じて、本を選んで調べる。

【国語】「話し合ってみんなの考えをまとめよう」(話す・聞く)
・話し合っている内容をよく聞き、互いの考えの共通点や相違点を考えながら、議題からそれないように発言する。(思・判・表)

「考えるための技法」の活用

【国語】「調べてほうこくしよう」(話す・聞く)
・相手や目的に応じて、必要な事柄について適切にインタビューをしたり、資料を使って調べ、報告する。(思・判・表)

【国語】「中心場面を明らかにして書こう」(書く)
・段落相互の関係などに注意して、中心場面を決めて様子が伝わるように書く。(思・判・表)

※佐伯地区の実践から

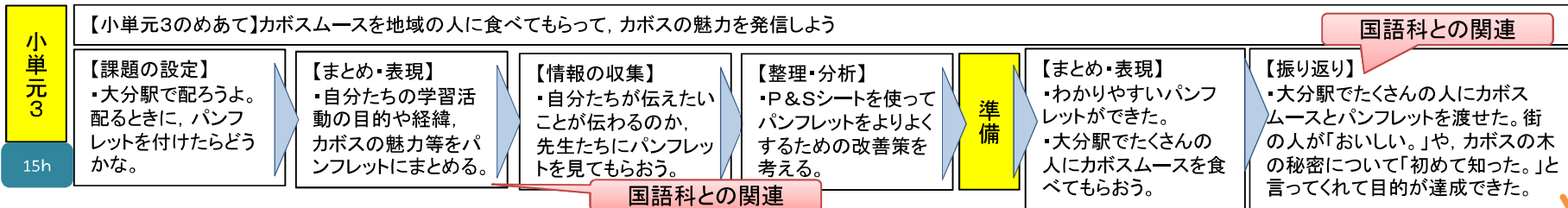
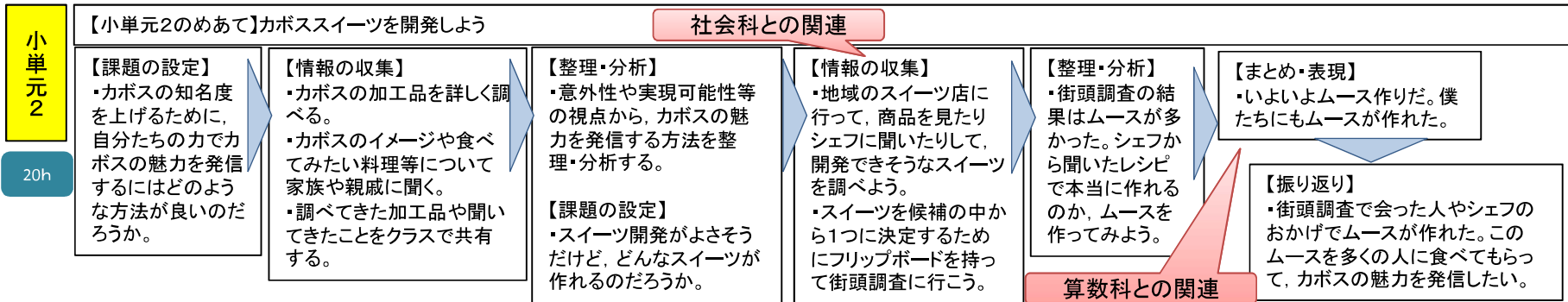
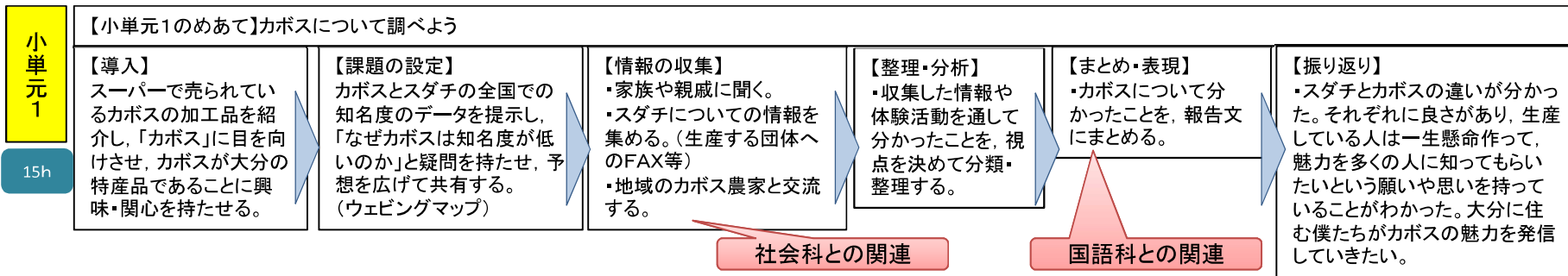
小学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第3学年:50時間】



探究課題(例): カボスの生産や普及に携わる人々の願いや思いと、普及に向けての取組

単元のねらい: 大分県の特産品であるカボスについての探究的な学習を通して、カボスの生産や普及に携わる人々の願いや思いを知るとともに、地域の特産品や携わる人々に関心を持ち進んで関わろうとするようにする。

単元のめあて: カボススイーツを開発して、カボスの魅力を発信しよう



【単元の振り返り】(期待する姿)

・1年間の学習でカボスのことがよく分かった。また、カボスを作っている人の苦労や喜びを知ってカボスをもっと好きになった。大分駅でカボスムースを食べた人がおいしいと言って嬉しかった。けんかや失敗もしたけど、みんながたくさん考えてこの活動が成功したので、みんなの力が合わさるともっとがんばれると思った。関わってくれた人にも感謝したい。 など

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力(例)



単元名: カボススイーツを開発して、カボスの魅力を発信しよう(小学校第3学年:50時間)

時期	9月～10月	11月～1月	2月～3月	
探究の過程	カボスについて調べる過程で、体験したり考えたりしたことをまとめ、課題をつくる(15時間)	カボススイーツを開発しよう!(20時間)	カボスマースを地域の人に食べてもらって、カボスの魅力を発信しよう(15時間)	
課題設定	<ul style="list-style-type: none"> スーパーで売られているカボスの加工品を紹介し、「カボス」に目を向けさせ、カボスが大分の特産品であることに興味・関心を持たせる。 カボスとスタチの全国での知名度のデータを提示し、「なぜカボスは知名度が低いのか」と疑問を持たせ、予想を広げて共有する。(ウェビングマップ) 	<p>【課題設定①】</p> <ul style="list-style-type: none"> カボスの知名度を上げるために、自分たちの力でカボスの魅力を発信するにはどのような方法が良いのだろうか。 <p>【課題設定②】</p> <ul style="list-style-type: none"> スイーツ開発がよさそうだけど、どんなスイーツが作れるのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 大分駅で配ろうよ。配るときに、パンフレットを付けたらどうか。 	<p>【社会】「地域の人々の生産や販売」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人々の生産や販売の仕事の工夫を自分たちの生活と関連付けて考え適切に表現している。(思・判・表)
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 家族や親戚に聞く。 スタチについての情報を集める。(生産する団体へのFAX等) 地域のカボス農家と交流する。 	<p>【情報の収集①】</p> <ul style="list-style-type: none"> カボスの加工品を詳しく調べる。 カボスのイメージや食べてみたい料理等について家族や親戚に聞く。 調べてきた加工品や聞いてきたことをクラスで共有する。 <p>【情報の収集②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のスイーツ店に行って、商品を見たりシェフに聞いたりして、開発できそうなスイーツを調べよう。 スイーツを候補の中から1つに決定するためにフリップボードを持って街頭調査に行こう。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが伝えたいことが伝わるのか、先生たちにパンフレットを見てもらおう。 	<p>【算数】「時刻と時間」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で必要となる時刻と時間を求めることができる。(技能) <p>【国語】「調べてほうこくしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書いている。(書く)
整理分析	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報や体験活動を通して分かったことを、視点を決めて分類・整理する。 	<p>【整理・分析①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意外性や実現可能性等の視点から、カボスの魅力を発信する方法を整理・分析する。 <p>【整理・分析②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 街頭調査の結果はマースが多かった。シェフから聞いたレシピで本当に作れるのか、マースを作ってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> P&Sシートを使ってパンフレットをよりよくするための改善策を考える。 	<p>「考えるための技法」の活用</p>
まとめ表現振り返り	<ul style="list-style-type: none"> カボスについて分かったことを、報告文にまとめる。 <p>【期待する振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> スタチとカボスの違いが分かった。それぞれに良さがあり、生産している人は一生懸命作って、魅力を多くの人に知ってもらいたいという願いや思いを持っていることがわかった。大分に住む僕たちがカボスの魅力を発信していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いよいよマース作りだ。僕たちにもマースが作れた。」 <p>【期待する振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 街頭調査で会った人やシェフのおかげでマースが作れた。このマースを多くの人に食べてもらって、カボスの魅力を発信したい。 	<p>【まとめ・表現①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの学習活動の目的や経緯、カボスの魅力等をパンフレットにまとめる。 <p>【まとめ・表現②】</p> <ul style="list-style-type: none"> わかりやすいパンフレットができた。 大分駅でたくさんの人にカボスマースを食べてもらおう。 <p>【期待する振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 街の人が「おいしい。」や、カボスの木の秘密について「初めて知った。」と言ってくれて目的が達成できた。 	<p>【国語】「調べてほうこくしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話している。(話す・聞く) <p>【国語】「気持ちをつたえる話し方・聞き方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(伝国) <p>【算数】「重さ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 重さを単位や計器を適切に選んで測定することができる。(技能)

※大分大学教育学部附属小学校の実践から

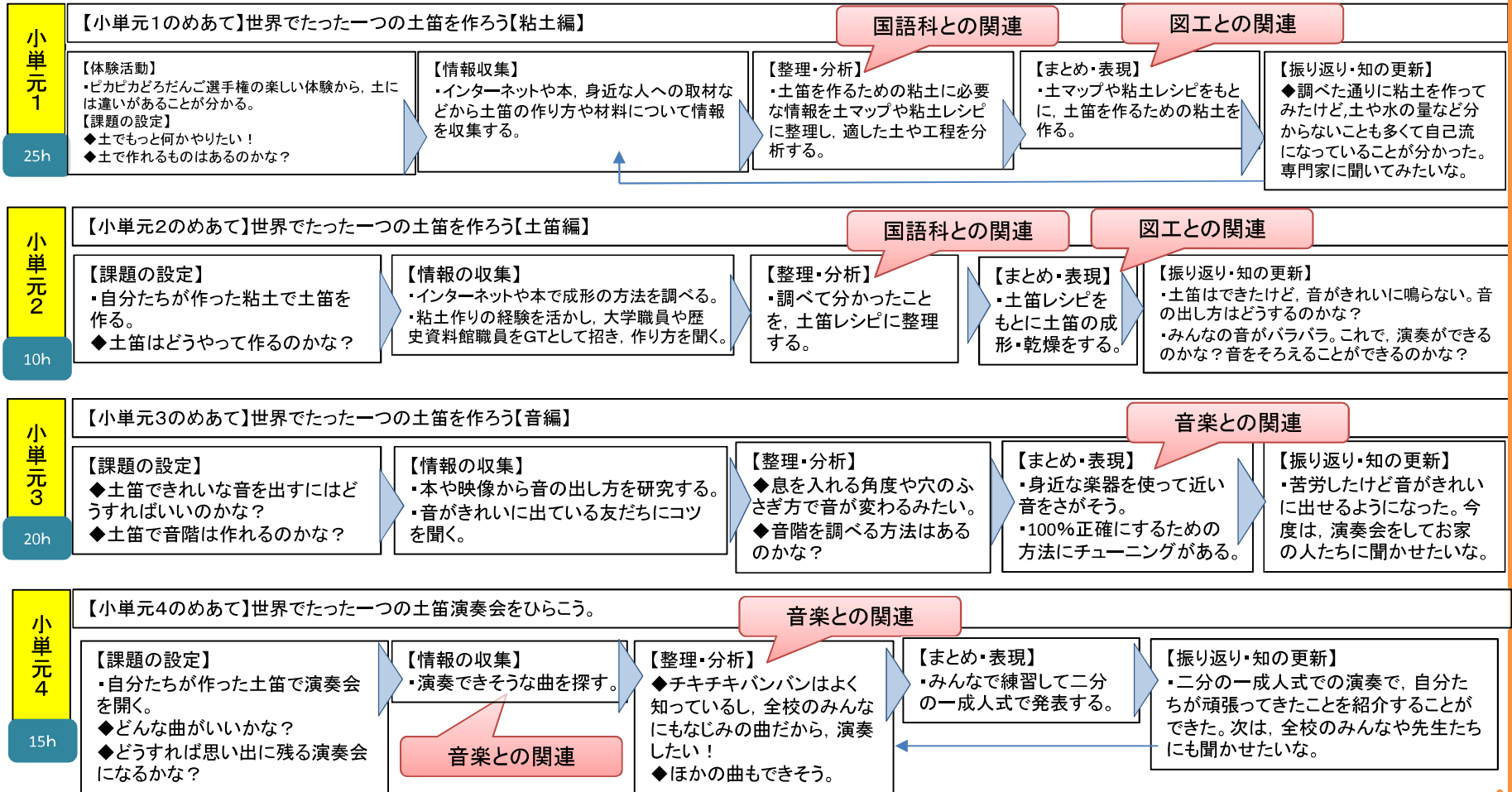
小学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第4学年:70時間】



探究課題(例): ものづくりの面白さや工夫, 自然の不思議さともものづくりに携わる人々の技術や思い

単元のねらい: 土笛を作ったり, 演奏したりする活動を通して, 地域の自然のよさやものづくりに携わる人々の思いに気付くとともに, ものづくりの楽しさを体感し進んで活動するようにする。

単元のめあて: 世界でたった一つの土笛プロジェクト ~運動場の土から世界でたった一つの土笛を作ろう~



【単元の振り返り】(期待する姿)
 ・分からないことはとことん調べたりいろんな人に聞いたりして解決してきた。何回も失敗して苦労したけど, そのたびにみんなで原因をさがって改善し, 協力してうまくできた時や, 演奏会でたくさんの人たちに聞いてもらったときにはとてもうれしかった。自分たちでできたという達成感があった。助けてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えたい。 など

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力(例)



単元名： 世界でたった一つの土笛プロジェクト(小学校第4学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	世界でたった一つの土笛をつくらう 【粘土編】 (25時間)	世界でたった一つの土笛をつくらう 【土笛編】 (10時間)	世界でたった一つの土笛をつくらう 【音編】 (20時間)	世界でたった一つの土笛演奏会をひらこう (15時間)
課題設定	【体験活動】 ・ピカピカどろだんご選手権の楽しい体験から、土には違いがあることが分かる。 【課題の設定】 ◆土でもっと何かやりたい！ ◆土で作れるものはあるのかな？	【課題の設定】 ・自分たちが作った粘土で土笛を作る。 ◆土笛はどうやって作るのかな？	【課題の設定】 ◆土笛できれいな音を出すにはどうすればいいのかな？ ◆土笛で音階は作れるのかな？	【課題の設定】 ・自分たちが作った土笛で演奏会を開く。 ◆どんな曲がいいかな？ ◆どうすれば思い出に残る演奏会になるかな？
情報収集	・インターネットや本、身近な人への取材などから土笛の作り方や材料について情報を収集する。	・インターネットや本で成形の方法を調べる。 ・粘土作りの経験を活かし、大学職員や歴史資料館職員をGTとして招き、作り方を聞く。	・本や映像から音の出し方を研究する。 ・音がきれいに聞こえている友だちにコツを聞く。	・演奏できそうな曲を探す。
整理分析	・土笛を作るための粘土に必要な情報を土マップや粘土レシピに整理し、適した土や工程を分析する。	・調べて分かったことを、土笛レシピに整理する。	◆息を入れる角度や穴のふさぎ方で音が変わるみたい。 ◆音階を調べる方法はあるのかな？	◆チキチキバンバンはよく知っている！全校のみんなにもなじみの曲だから、演奏したい！ ◆ほかの曲もできそう。
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・土マップや粘土レシピをもとに、土笛を作るための粘土を作る。 【振り返り・知の更新】 ◆調べた通りに粘土を作ってみたけど、土や水の量など分からないことも多く、自己流になっていることが分かった。専門家に聞いてみたい。	【まとめ・表現】 ・土笛レシピをもとに土笛の成形・乾燥をする。 【振り返り・知の更新】 ・土笛はできたけど、音がきれいに鳴らない。音の出し方はどうするのかな？ ・みんなの音がバラバラ。これで、演奏ができるのかな？音をそろえることができるのかな？	【まとめ・表現】 ・身近な楽器を使って近い音をさがそう。 ・100%正確にするための方法にチューニングがある。 【振り返り・知の更新】 ・苦労したけど音がきれいに聞こえるようになった。今度は、演奏会をしてお家の人たちに聞かせたい。	【まとめ・表現】 ・みんなで練習して二分の一成人式で発表する。 【振り返り・知の更新】 ・二分の一成人式での演奏で、自分たちが頑張ってきたことを紹介することができた。次は、全校のみんなや先生たちにも聞かせたい。

【図工】「すなや土となかよし」(1年・既習)
・身近な自然物の形や色などを基に造形的な活動を思いつくことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考える。(思・判・表)

【図工】「立ち上がれ粘土」
・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。(知・技)

・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ったり、つないだり、形を変えたりするなどして、工夫して作ること(技)

【国語】「学級の問題について話し合う」(話す・聞く)
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

「考えるための技法」の活用

【国語】「命をつなぐレッドデータブックを作ろう」(読む)
・目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約すること(思・読ウ)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)
・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること(思・書イ)

【音楽】「拍の流れにのってリズムを感じ取ろう」(3年・既習)
・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について理解すること。(共通事項・知)

※大分大学教育学部附属小学校の実践から

小学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第4学年】



探究課題(例): ○○川の環境を守ったり、清流にしたいと活動する組織や人々の思いや願いと、それを実現しようとする意義

単元のねらい: ○○川の生き物との関わりや生き物に関する調査活動、川の水質を守るための取組をしている人々と関わる探究的な学習を通して、○○川の生き物やそれを取り巻く環境、人々とのかかわりについて理解し、進んで生き物や人々に関わったり、生き物が暮らしやすい環境に改善したりしようとするようにする。

単元のめあて: ○○川探検隊! ~生き物がある川を大切にしてもらうための取組を進めよう~

小単元1 20h

【小単元1のめあて】○○川の生き物を元気に育てよう

<p>【体験活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○川に生き物を捕りに行き、学校等で飼育するための環境を整える ◆○○川の生き物を元気に育てよう! ◆学校や地域みんなは、○○川の生き物を知っているのかな? 	<p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○川の生き物を見たり飼ったりしたことがあるか、学校みんなに尋ねる。 ・アンケート結果や飼育している生き物の状況から、今後の活動を考える。 	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果について、視点を決めて分類・整理する。 ・これまでに飼育、観察した生き物の状況を、視点を決めて分類する。 	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なくて驚いた。たくさんの生き物がある○○川の環境などについても調べ、生き物を元気に飼えるようにしたい。 	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生き物を元気に飼ったり、○○川のことをもっと知ってもらうためにはどうすればいいのかな?
---	---	--	--	---

理科との関連

国語科との関連

小単元2 20h

【小単元2のめあて】生き物を元気に飼えるように○○川のことをもっと知ろう

<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの自由研究発表会を行う。 ◆せっかく捕ってきた、生き物が死んでしまう。教室で飼っている生き物を元気に飼うようにするには、どうすればいいのだろうか? ・教室で飼っている生き物をどうすることが幸せなのか調べたり話し合ったりする。 	<p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○川の水は、日にちや時間によってどのように変わっているのか調べる。 ・満潮、干潮のときの水の深さや流れ、水質等について、生き物の生息と関連付けて調べる。 ・川の環境に詳しい方をGTとして招く。 	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べて分かったことを、視点を決めて分類する。 ◆生き物がもともとすんでいた環境に近づけることが大切だ! 	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物のことや調べたことを新聞などにまとめる。 ・現在の○○川の環境について、気になった点を話し合う。 	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度も○○川に出かけて川の様子や生き物の様子を調べてみて、○○川のことを好きになった。みんなにもこの川のことを好きになってほしいけど、ゴミの多さが気になった。○○川のゴミを減らすことはできないだろうか?
---	---	--	---	--

小単元3 30h

【小単元3のめあて】生き物がある○○川を大切にもらうための取組を進めよう

<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生き物がある川を大切にもらうためには、どのような取組を進めればよいだろうか? 	<p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆○○川源流探検 ◆クリーンキャンペーン ◆生き物捕まえ隊 ◆教室の生き物紹介! ◆チラシやポスター製作 ・それぞれの活動に必要な情報を収集する。 	<p>実行</p>	<p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが実行した取組に参加した人々のアンケート結果を整理する。 ◆○○川のことを好きになってくれたか? 	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの意見をもとに、取組内容を見直す。(生き物の解説を増やす、宣伝活動をする、等) ・新たな取組についても考える。 	<p>実行</p>	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組に対する意見をまとめる。 ・これまで飼ってきた生き物を○○川へ返す。 ・お別れの会を開く。
--	---	------------------	--	--	------------------	--

【単元の振り返り】(期待する姿)

・1年間学習してきて、自分たちの○○川にはたくさんの生き物があることや、○○川を大切にしようとしている人々がいることが分かった。学校(教室)で生き物を飼うためにみんなで協力したことがあった。○○川を大切にするための取組も進めてきたけど、これで終わりにするのではなく、自分にできることはこれからも取り組んでいきたい。 など

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元名: ○○川探検隊！～生き物がいる川を大切にしてもらうための取組を進めよう～(小学校第4学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～1月	2月～3月	
探究の過程	○○川の生き物を元気に育てよう(20時間)	生き物を元気に飼えるように○○川のことをもっと知ろう(20時間)	生き物がいる○○川を大切にもらうための取組を進めよう(30時間)	【社会】「健康なくらしとまちづくり」 ・ごみを減量するために自分にできることや取り組みたいことを考え、それを適切に表現する。(思・判・表) ・市で暮らす人々によるごみ減量の取り組みと、取り組む人々の思いを捉え、市民がごみの減量に携わっていくことの大切さを理解する。(知・技) ・グラフの見比べ方(技)
課題設定	【体験活動】 ・○○川に生き物を捕りに行き、学校等で飼育するための環境を整える ◆○○川の生き物を元気に育てよう！ ◆学校や地域のみんなは、○○川の生き物を知っているのかな？	【課題の設定】 ・夏休みの自由研究発表会を行う。 ◆せつかく捕ってきて、生き物が死んでしまう。教室で飼っている生き物を元気に飼うようにするには、どうすればいいのだろうか？ ・教室で飼っている生き物をどうすることが幸せなのか調べたり話し合ったりする。	◆生き物がいる川を大切にもらうためには、どのような取組を進めればよいらうか？	
情報収集	・○○川の生き物を見たり飼ったりしたことがあるか、学校の人に尋ねる。 ・アンケート結果や飼育している生き物の状況から、今後の活動を考える。	・○○川の水は、日にちや時間によってどのように変わっているのか調べる。 ・満潮、干潮のときの水の深さや流れ、水質等について、生き物の生息と関連付けて調べる。 ・川の環境に詳しい方をGTとして招く。	◆○○川源流探検 ◆クリーンキャンペーン ◆生き物捕まえ隊 ◆教室の生き物紹介！ ◆チラシやポスター製作 ・それぞれの活動に必要な情報を収集する。	【理科】「自由研究」 ・調べたことや作った物について、その過程や結果をまとめる。(技) ・研究の過程や成果などについて、自分の考えを表現する。(思・判・表)
整理分析	・アンケート結果について、視点を決めて分類・整理する。 ・これまでに飼育、観察した生き物の状況を、視点を決めて分類する。	・調べて分かったことを、視点を決めて分類する。 ◆生き物がもともとすんでいた環境に近づけることが大切だ！	【実行①】 ・自分たちが実行した取組に参加した人々のアンケート結果を整理する。 ◆○○川のことを好きになってくれたか？	【国語】「よりよい話し合いの仕方を考えよう」(話す・聞く) ・友達の考えとの共通点や相違点を考えながら、司会の進行にそって話し合う。(思・判・表)
まとめ表現振り返り	・○○川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なくて驚いた。たくさんの生き物がいる○○川の環境などについても調べ、生き物を元気に飼えるようにしたい。 【課題の設定】 ◆生き物を元気に飼ったり、○○川のことをもっと知ってもらうためにはどうすればいいのかな？	【まとめ・表現】 ・生き物のことや調べたことを新聞などにまとめる。 ・現在の○○川の環境について、気になった点を話し合う。	【まとめ・表現①】 ・みんなの意見をもとに、取組内容を見直す。(生き物の解説を増やす、宣伝活動をする、等) ・新たな取組についても考える。 【まとめ・表現②】 ・取組に対する意見をまとめる。 ・これまで飼ってきた生き物を○○川へ返す。 ・お別れの会を開く。	「考えるための技法」の活用

【国語】「課題にそって報告文を書こう」(書く)
・組み立て表をもとに、相手を意識して構成を工夫して書く。(思・判・表)
・文章のまちがいを正したり、読み手に伝わる表現になっているか読み返したりする。(思・判・表)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)
・書くこととすることの中心を明確にし、伝えたいことを正確に書き表す。(思・判・表)

【理科】「季節と生き物」通年
・生き物のようすが変化することを気温の変化と関係づけて、予想をもち、表現する。(思・判・表)
・動物の活動は、季節の気温の変化と関係していることを理解する。(知・技)

【国語】「不思議図かんを作ろう」(書く)
・「不思議図かん」に必要なものを調べたり、図を入れたりして表現する。(思・判・表)

【国語】「ポスターを使って発表しよう」(話す・聞く)
・テーマにそって調べ、理由や事例をあげて資料をもとにわかりやすく話す。(思・判・表)
・聞き手に話の中心が伝わっているか、確かめながら話す。(思・判・表)
・調べたり、ポスターを書いたりする際に、意味のよくわからない言葉を辞典で調べる。(知・技)

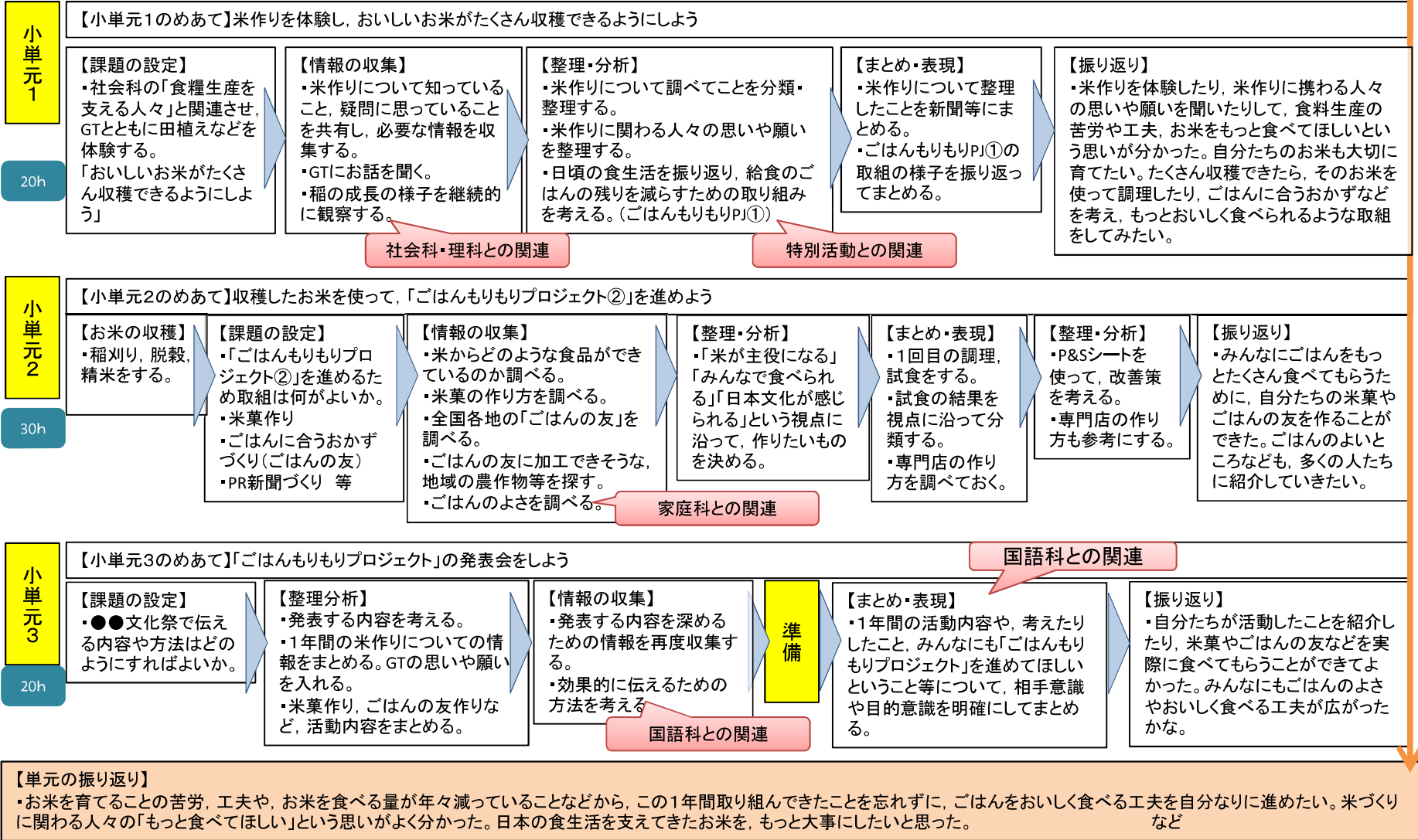
小学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第5学年:70時間】



探究課題(例): 米の生産や米菓作りに携わる人々の取組や願い、努力や創意工夫

単元のねらい: 米作りや米を使った調理に関わる活動を通して、食料を生産する苦勞、工夫、喜びを実感するとともに、米文化の多様性に気付いたり、米菓作りに携わる人々の商品に寄せる思いや願いを感じ取ったりするとともに、米作りと自分たちを結び付けながら、生活を見直していこうとするようにする。

単元のめあて: ごはんもりもりプロジェクト ~ 発見! お米の可能性 ~ お米のよいところを発見・発信しよう



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力(教育出版ver)



単元名: ごはんもりもりプロジェクト ~ 発見!お米の可能性 ~ お米のよいところを発見・発信しよう(小学校第5学年:50時間)

時期	9月~10月	11月~1月	2月~3月		
探究の過程	米づくりについて調べたり体験したりしたことや考えたことをまとめる。(15時間)	ごはんもりもりプロジェクトを進める(20時間)	ごはんもりもりプロジェクトの活動を振り返ってまとめよう(15時間)	【理科】植物の発芽, 成長 ・植物は, 種子の中の養分を基に発芽することを理解する。 ・植物の発芽には, 水, 空気及び温度が関係していることを理解する。 ・植物の成長には, 日光や肥料などが関係していることを理解する。(知・技) ・植物の育ち方について追究する中で, 植物の発芽, 成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に, 解決の方法を発想し, 表現する。(思・判・表)	
課題設定	・社会科の「食糧生産を支える人々」と関連させ, GTとともに田植えなどを体験する。「おいしいお米がたくさん収穫できるようにしよう」	【お米の収穫】 ・稲刈り, 脱穀, 精米をする。 ・「ごはんもりもりプロジェクト②」を進めるため取組は何かよいか。 ・米菓作り ・ごはんに合うおかずづくり(ごはんの友) ・PR新聞づくり 等	・●●文化祭で伝える内容や方法はどのようにすればよいか。	【国語】「わが町ベスト・スリーを決めよう」(話す・聞く) ・目的に合うように構成を考えて, 話をしている。(思・判・表) ・話の内容が明確になるように, 事実と感想, 意見とを区別するなど, 話の構成を考える。(思・判・表)	
情報収集	・米作りについて知っていること, 疑問に思っていることを共有し, 必要な情報を収集する。 ・GTにお話を聞く。 ・稲の成長の様子を継続的に観察する。	・米からどのような食品ができていくのか調べる。 ・米菓の作り方を調べる。 ・全国各地の「ごはんの友」を調べる。 ・ごはんの友に加工できそうな, 地域の農作物等を探す。 ・ごはんのよさを調べる。	【情報の収集】 ・発表する内容を深めるための情報を再度収集する。 ・効果的に伝えるための方法を考える	【国語】「世界遺産 白山山地からの提言」(読む・書く) ・資料の文や言葉を引用したり, 図表やグラフなどを用いたりし, 自分の考えが伝わるように書く。(思・判・表) ・事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する(思・判・表)	
整理分析	・米作りについて調べたことを分類・整理する。 ・米作りに関わる人々の思いや願いを整理する。 ・日頃の食生活を振り返り, 給食のごはんの残りを減らすための取り組みを考える。(ごはんもりもりPJ①)	【整理・分析1】 ・「米が主役になる」「みんなで食べられる」「日本文化が感じられる」という視点に沿って, 作りたいものを決める。	【整理・分析2】 ・P&Sシートを使って, 改善策を考える。 ・専門店の作り方も参考にします。	・発表する内容を考える。 ・1年間の米作りについての情報をまとめる。GTの思いや願いを入れる。 ・米菓作り, ごはんの友作りなど, 活動内容をまとめる。 <準備>	
まとめ表現振り返り	・米作りについて整理したことを新聞等にまとめる。 ・ごはんもりもりPJ①の取組の様子を振り返ってまとめる。 【期待する振り返り】 ・米作りを体験したり, 米作りに携わる人々の思いや願いを聞いたりして, 食料生産の苦労や工夫, お米をもっと食べてほしいという思いが分かった。自分たちのお米も大切に育てたい。たくさん収穫できたら, そのお米を使って調理したり, ごはんに合うおかずなどを考え, もっとおいしく食べられるような取組をしたい。	・1回目の調理, 試食をする。 ・試食の結果を視点に沿って分類する。 ・専門店の作り方を調べておく。 【期待する振り返り】 ・みんなにごはんをもっとたくさん食べてもらうために, 自分たちの米菓やごはんの友を作ることができた。ごはんのよいところなども, 多くの人たちに紹介していきたい。	・1年間の活動内容や, 考えたりしたこと, みんなにも「ごはんもりもりプロジェクト」を進めてほしいということ等について, 相手意識や目的意識を明確にしてまとめる。 【期待する振り返り】 ・自分たちが活動したことを紹介したり, 米菓やごはんの友などを実際に食べてもらうことができてよかった。みんなにもごはんのよさやおいしく食べる工夫が広がったかな。	【家庭】「食べて元気に」 ・栄養を考えて食事をとることの大切さについて理解している。(知・技) ・3つのグループの食品を組み合わせてすることにより, 栄養のバランスがよい食事になることを理解している。(知・技)	
	【社会】「米づくりのさかんな地域」 ・米が収穫されるまでには, 春から秋にかけて, さまざまな仕事があることを理解する。(知・技) ・写真やグラフなどの資料から事実を正確に読み取り, 日本の米づくりには, どのような課題があるのかを捉えている。(知・技)	【社会】「米づくりのさかんな地域」 ・環境への影響に配慮した米づくりや, 昔ながらの知識を生かした米づくりの様子を読み取り, 米づくりに携わる人がどのような思いをもっているかについて考え, 表現する。(思・判・表) ・米づくりに携わる人たちが課題を乗り越え生産を続けていくために, さまざまな工夫や努力をしていることを考え, 表現する。(思・判・表)	【国語】「情報ノートを作ろう」(書くこと) ・目的や意図に応じて, 書く事柄を集めている(思・判・表)	【国語】「紹介ポスターを作ろう」(書くこと) ・目的や意図に応じて, 感じたことや考えたことなどから書くことを選び, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝えたいことを明確にする(思・判・表) ・筋道の通った文章となるように, 文章全体の構成や展開を考える(思・判・表)	【国語】「意見交換会をしよう」(話す・聞く) ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い, 考えを広げたりまとめる(思・判・表) ・テーマについて自分の立場をふまえ, 理由や根拠をあげながら話をしている。(思・判・表)

小学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第6学年】



探究課題(例): 世界農業遺産の仕組みや価値とその維持・継承に向けて取り組む人々の努力や創意工夫と思いや願い

単元のねらい: 自分たちの地域の世界農業遺産についての探究的な学習や、その維持と発展にむけて尽力する人々に関わる活動を通して、自分たちの地域にある世界農業遺産のすばらしさやよさを理解し、郷土を大切にしようとするようにする。

単元のめあて: 世界農業遺産の自慢を発信しよう

小単元1 20h

【小単元1のめあて】世界農業遺産について調べよう

<p>【単元のめあて】自分たちが住んでいる地域が世界農業遺産に認定されていることについて、知っていることや知らないこと等を出し合い共有し、単元のめあてを設定する。</p>	<p>【情報収集】 ・ため池やクヌギ林を実際に歩いてみる。 ・ゲストティーチャーの話聞く。 ・しいたけを使った料理教室 ・シチトウイで作品を作っている芸術家との交流</p>	<p>【整理分析】 ・体験活動やGTの話などについて、マトリックス等で視点を決めて整理する。 ・どのような情報がどの程度集まっているか確認する。</p>	<p>【まとめ・表現】 ・体験活動等で得た情報について、「世界農業遺産じまん新聞」にまとめる。</p>	<p>【振り返り】 ・日ごろはあまり意識していなかったけど、自分たちの住んでいる地域には自慢できるものがたくさんあることが分かった。地元の人たちや、このあたりを訪れる観光客の方たちは、この地域のいいところを知っているのかな？</p>	<p>【単元を通した課題】 ★実際に歩いたり、体験したりして、自分たちの住んでいる地域には自慢できるものがたくさんあった。このことを、もっとたくさんの人に知ってもらおう！</p>
---	--	---	---	---	---

国語科との関連

小単元2 35h

【小単元2のめあて】世界農業遺産についての調査をして、発信する内容と方法を決めよう

<p>【情報の収集】 ・空港や道の駅などで、世界農業遺産や自分たちが体験してきたことについて、知っているかどうか調査する。</p>	<p>【課題の設定】 ・自分たちの地域の自慢を、もっと多くの人たちに知ってもらうためには、どうすればよいか。</p>	<p>【情報の収集】 ・小単元1で体験したことについて、「これは絶対伝えたい！広めたい」ことを絞り込むために、GTに話を聞いたり、再度体験したりする。</p>	<p>【整理分析】 ・伝えたいことがら(しいたけ、クヌギ林、シチトウイ、ため池と農業など)ごとに、伝えたい内容をピラミッドチャート(ランキング)で絞り込む。</p>	<p>【まとめ・表現】 ・伝えたい内容が決まったら、伝えるための効果的な方法を考える。(国語科との関連) ・より効果的に伝えるための素材を収集する。(写真、動画など)</p>	<p>【振り返り】 ・世界農業遺産について、よく知っている人と知らない人がいた。もっとよく知ってもらうために、伝えたいことと方法をみんなで考えた。これから伝えるための準備をして、多くの人たちに世界農業遺産のすばらしさを伝えていきたい。</p>
---	--	---	--	---	---

国語科との関連

小単元3 15h

【小単元3のめあて】今まで調べたり体験したりして見つけた世界農業遺産の自慢を発信しよう

<p>【課題の設定】 ・自分たちの発表をもっとよくするには、どうすればよいか。</p>	<p>【情報収集】 ・グループごとに発表を見合い、意見交換をする。 ・自慢を伝えるためにつくったチラシや新聞などを多くの人に見てもらい、意見をもらう。</p>	<p>【整理分析】 ・意見交換をしたり、多くの人の意見をKJ法でまとめ、解決すべき事柄を見出す。 ・解決すべき課題と改善策を、P&Sシートを用いて考える。 ・チラシやポスターなど、日ごろ目にしていないものと自分たちのものと比較し、効果的な表現について考える。</p>	<p>【まとめ・表現】 ・GT、体験活動でお世話になった方々、地域の方などを招いて世界農業遺産の自慢発表会を行う。 ・実際に体験活動を行うブースを設ける。 ・農産物を使って開発した料理等を振舞う。 ・チラシやポスター、パンフレットなどを観光協会の方にプレゼンする</p>
---	---	---	---

国語科との関連

【単元の振り返り】(期待する姿)
・1年間学習してきて、自分たちにはたくさん自慢できることがあった。農産物などに関わっている人たちが、どんな思いで働いているのかも分かった。地域のすばらしさについて、伝えたいことや方法をみんなで考えて、多くの人たちに伝えられたと思う。自分たちの住んでいる地域がとてもいいところなんだということがわかったから、これからはもっと大事にしていきたい。 など

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力(光村ver)



単元名: 世界農業遺産の自慢を発信しよう(小学校第6学年:70時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月			
探究の過程	世界農業遺産について調べたり体験したりしたことや考えたことをまとめる。(35時間)	世界農業遺産について発信する内容や方法を考える(20時間)	世界農業遺産の自慢を発信する(15時間)	【理科】「生物どうしの関わり」 ・生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解する。(知・技) ・人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解する。(知・技) ・生物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現する。(思・判・表)		
課題設定	自分たちが住んでいる地域が世界農業遺産に認定されていることについて、知っていることや知らないこと等を出し合い共有し、単元のめあてを設定する。	★実際に歩いたり、体験したりして、自分たちの住んでいる地域には自慢できるものがたくさんあった。このことを、もっとたくさんの人知ってもらおう！ ・空港や道の駅などで、世界農業遺産や自分たちが体験してきたことについて、知っているかどうか調査し、整理して課題を設定する。 「自分たちの地域の自慢を、もっと多くの人たち知ってもらったためには、どうすればよいか。」	今まで調べたり体験したりして見つけた世界農業遺産の自慢を発信しよう ・自分たちの発表をもっとよくするには、どうすればよいか。			
情報収集	・ため池やクヌギ林を実際に歩いてみる。 ・ゲストティーチャーの話を聞く。 ・しいたけを使った料理教室 ・シチトウイで作品を作っている芸術家との交流	・小単元1で体験したことについて、「これは絶対伝えたい！広めたい」ことを絞り込むために、GTに話を聞いたり、再度体験したりする。	・グループごとに発表を見合い、意見交換をする。 ・自慢を伝えるためにつくったチラシや新聞などを多くの人に見てもらい、意見をもらう。	【国語】「自然に学ぶ暮らし」(読む) ・筆者の考えについて、経験や知識と照らし合わせて、自分の考えをまとめる。(思・判・表)		
整理分析	・体験活動やGTの話などについて、マトリックス等で視点を決めて整理する。	・伝えたいことがら(しいたけ、クヌギ林、シチトウイ、ため池と農業など)ごとに、伝えたい内容をピラミッドチャート(ランキング)で絞り込む。	・意見交換をしたり、多くの人の意見をKJ法でまとめ、解決すべき事柄を見出す。 ・解決すべき課題と改善策を、P&Sシートを用いて考える。 ・チラシやポスターなど、日ごろ目しているものと自分たちのものと比較し、効果的な表現について考える。	【国語】「今、私は、ぼくは」(話す・聞く) ・伝えたい話題を決め、必要な資料を準備している。(思・判・表) ・適切に内容を組み立て、印象深く伝えるように話し方を工夫して、スピーチしている。(思・判・表) ・話し手が、何を、誰に、どんな思いで伝えようとしているかを聞いている。(思・判・表)		
まとめ表現振り返り	・体験活動等で得た情報について、「世界農業遺産じまん新聞」にまとめる。 【期待する振り返り】 ・日ごろはあまり意識していなかったけど、自分たちの住んでいる地域には自慢できるものがたくさんあることが分かった。地元の人たちや、このあたりを訪れる観光客の方たちは、この地域のいいところを知っているのかな？	・伝えたい内容が決まったら、伝えるための効果的な方法を考える。(国語科との関連) ・より効果的に伝えるための素材を収集する。(写真、動画など) 【期待する振り返り】 ・世界農業遺産について、よく知っている人と知らない人がいた。もっとよく知ってもらうために、伝えたいことと方法をみんな考えて。これから伝えるための準備をして、多くの人たちに世界農業遺産のすばらしさを伝えていきたい。	・GT、体験活動でお世話になった方々、地域の方などを招いて世界農業遺産の自慢発表会を行う。 ・実際に体験活動を行うブースを設ける。 ・農産物を使って開発した料理等を振舞う。 ・チラシやポスター、パンフレットなどを観光協会の方にプレゼンする。	【家庭】「共に生きる生活」 ・身近な人びとのかかわりについて見直し、快適に生活するための方法について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(思・判・表) ・自分の生活を見直し、環境に配慮した物の使い方などについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。(思・判・表) 【家庭】「くふうしようおいしい食事」 ・材料や目的に応じたゆで方やいため方について考えたり、自分なりに工夫している。(思・判・表)		
【社会】「国の成り立ち」 ・遺物を観察、当時の暮らし体験などの際に、今の自分の暮らしと比べながら、縄文時代の暮らしの様子を想像する。(思・判・表) ・米作りが始まったことによる人々の暮らしや社会の様子の変化について理解する。(知・技)	【社会】「歴史新聞を作ろう」 ・これまでに学習した内容を適切に盛り込んで新聞にまとめる。(思・判・表)	【社会】「都市の発展と江戸の文化」 ・江戸時代の人々の暮らしや文化について、その担い手や文化が人々の生活に果たした役割について考える。(思・判・表)	【国語】「学級討論会をしよう」(話す・聞く) ・自分の主張・根拠と対比しながら聞いている。(思・判・表) ・話題に対する肯定・否定両方の立場で自分の考え方、感じ方をもっている。(思・判・表)	【国語】「ようこそ、私たちの町へ」(書く) ・文章全体の効果を考え構成するとともにキャッチコピーを付けるなど、表現を工夫して書く。(思・判・表) ・目的や相手の知りたい情報に応じて、文章の内容を考えている。	【国語】「未来がよりよくあるために」(話す・聞く/書く) ・自分の考えや意見とは異なる立場に立つ他者の存在を意識し、構成を工夫して書く。(思・判・表) ・互いの立場や意図をはっきりさせながら、質問や助言を入れて、計画的に話し合う。(思・判・表)	【国語】「伝えられてきたもの」(読む) ・現代でも親しまれている伝統文化について理解する。(知・技)

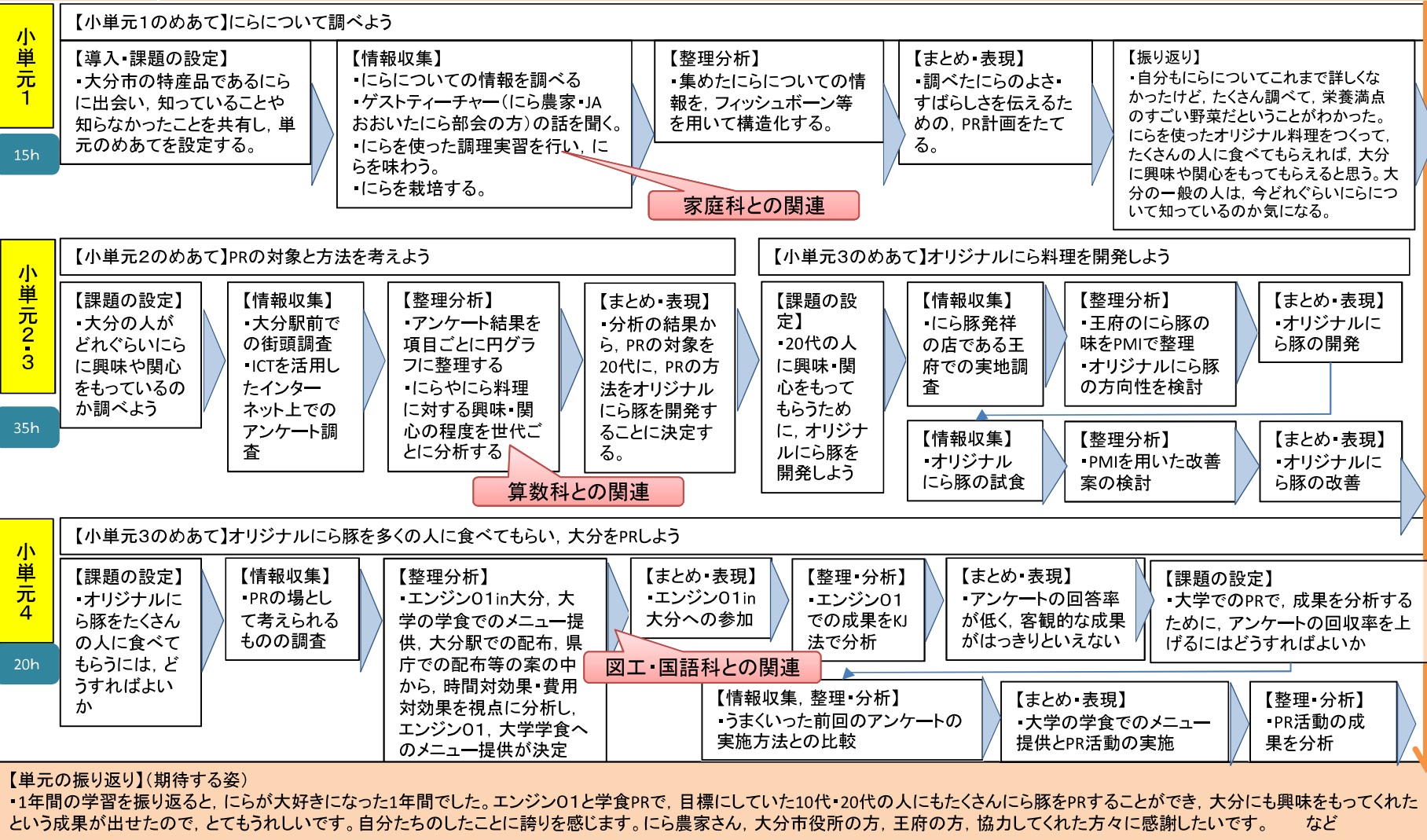
小学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第6学年:70時間】



探究課題(例): にとらの生産・販売や大分市の特産品として宣伝活動に携わる人々の努力や創意工夫とまいや願ひ

単元のねらい: 大分市の特産品であるにとらについての探究的な学習や、その生産や販売、大分市発祥であるにとら豚の開発・広報活動に携わる人々に関わる活動を通して、相手や目的を明確にして内容を焦点化しながら表現する力を育成するとともに、郷土を大切にしようとするようにする。

単元のめあて: オリジナルにとら料理で大分をPRしよう



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力(例)



単元名: オリジナルにら料理で大分をPRしよう(小学校第6学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～10月	10月～12月	1月～2月							
探究の過程	大分の特産物であるにらについて、調べたり体験したことをまとめる。(15時間)	にらについてのPRの対象と方法を考える(10時間)	オリジナルにら料理を開発する(25時間)	オリジナルにら料理をPRする(20時間)	【国語】「パネルディスカッションをしよう」(話す・聞く) ・本や資料を用いたり、インタビューやアンケートを行ったりして調べ、自分の考えを根拠付けたり、より幅広い視点から考えを見直して意見をまとめたりしている。(思・判・表) ・座談会やパネルディスカッションなどの公開討論会の形式を利用し、互いの考えの違いを大事にしながら、時間内にまとめられるよう、発言内容や発言回数に注意して話し合っている。(思・判・表) ・収集した知識や情報のメモやノートの内容を比較・対照したり分類したりして、提示する資料や内容を選んでいる。(思・判・表)						
課題設定	・大分市の特産品であるにらに出会い、知っていることや知らなかったことを共有し、単元のめあてを設定する。	・大分の人々がどれくらいにらに興味や関心をもっているのか調べよう。	・10～20代の人に興味・関心をもってもらうために、オリジナルにら豚を開発しよう。	・オリジナルにら豚をたうさんの人に食べてもらうにはどうすればいいか考えよう。							
情報収集	・ICTや図書資料を用いて、にらについて調べる。 ・にら農家の方、JAおおいにら部会担当者の方に話を聞く。 ・にらを自分たちでも栽培する。 ・にら料理を調理し、味わう。	・大分駅前での街頭調査 ・インターネット上でのアンケート調査	・にら豚発祥の店である王府での実地調査	・PRの場として考えられるものは何かあるか調査							
整理分析	・集めたにらについての情報を、フィッシュボーンを用いて構造化して整理する。	・アンケート結果を円グラフで整理 ・にらやにら料理に対する興味・関心の程度を、世代・性別ごとに分析する	・王府のにら豚の味をPMIで整理 ・グループごとににら豚レシピを考案 ・オリジナルにら豚の味をPMIで整理	・案の中から、時間対効果・費用対効果を視点に分析 ・PR活動後に取組の成果をKJ法で分析							
まとめ表現振り返り	・調べたにらのよさ、すばらしさを伝えるためのPR計画をたてる。 【期待する振り返り】 ・自分もにらについてこれまで詳しくなかったけど、たくさん調べて、栄養満点のすごい野菜だということがわかった。にらを使ったオリジナル料理をつくって、たくさんの人に食べてもらえれば、大分に興味や関心をもってもらえると思う。大分の一般の人には、今どれくらいにらについて知っているのか気になる。	・PRの対象:10～20代 PRの方法:オリジナルにら豚を開発して食べてもらうことに決定する。 【期待する振り返り】 ・10～20代の人々がにらについて食べる機会も、興味も少ないことがわかった。にら豚が大分発祥ということも知られていないので、若い人向けのオリジナルにら豚を作りたい。	・オリジナルにら豚開発のための調理実習 ・オリジナルにら豚改善のための調理実習 【期待する振り返り】 ・王府で教えてもらったレシピを土台に、何度も改善を繰り返したおかげで、オリジナルにら豚はとてもおいしいものになった。これをたくさんの人に食べてもらいたい。これまでは何となくお祭りなどで売ろうとしかかんがえていなかったけど、時間もお金も限られているから、PRの場がどこがいいかを考えた。	・エンジン01、大学の学食でのPRの実施 【期待する振り返り】 ・1年間の学習を振り返ると、にらが大好きになった。年間でした。エンジン01と学食PRで、目標にしていた10代・20代の人にもたくさんにら豚をPRすることができ、大分にも興味をもってくれたという成果が出せたので、とてもうれしいです。自分たちのしたことには誇りを感じます。にら農家さん、大分市役所の方、王府の方、協力してくれた方々に感謝したいです。	【国語】「意見文を書こう」(書く) ・現状認識と問題提起、解決に向けての提案とその事例の提示、結論や展望といった意見を述べる文章に必要な構成を考えて、集めた材料を構成している。(思・判・表)						
【家庭科】「いためてつくろう朝食」	・材料や目的に応じたため方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(思・判・表) ・調理の目的や材料にあった洗いや切り方、味の付け方、色どりや食べやすさを考えた盛り付けや配膳、衛生的で環境に配慮した後片付けについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。(思・判・表)	【家庭科】「物や金銭の使い方と買物」	・限りある物や金銭の使い方について理解している。(知・技) ・購入しようとする物の品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(思・判・表)	【算数】「資料の調べ方」	・資料の平均や散らばりを用いて集団の特徴を考えている。(思・判・表)	【社会】「わたしたちの願いと政治の働き」	・資料やインターネットを活用したり、聞き取り調査をしたりして、地方公共団体や国の政治の働きについて必要な情報を集め、読み取っている。(知・技) ・調べたことをレポートや作品などにまとめている。(知・技)	【図工】「デザインをしよう」	・心や感情について自分の思い描いたイメージが表れるような形や色を考えている。(思・判・表) ・絵の具や筆などの特徴を生かしながら、濃淡やにじみ、重なりや動きなど、表し方を工夫している。(知・技)	【国語】「学校案内パンフレットをつくろう」(書く)	・自分が他の人には是非薦めたいと思う物のよさを、確かな根拠をもって選んだり、他と比較してのよさを捉えたりしている。(思・判・表) ・不特定の相手にもよさが伝わるように、複数の根拠や事例を挙げたりよさを表すのにふさわしい推薦するための語句をつかったりしながら、事物を推薦する文章を書いている。(思・判・表)

※大分大学教育学部附属小学校の実践から